

2	法定	自主
○		

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月30日

神奈川県知事 殿



提出者

住所 神奈川県鎌倉市御成町18番10号

氏名 鎌倉市長 松尾 崇

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0467-23-3000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鎌倉市七里ガ浜浄化センター		自主管理番号 (1159)
事業場の所在地	TEL(連絡先): 0467-46-8001 神奈川県鎌倉市七里ガ浜東五丁目3番1号		
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	F-電気・ガス・熱供給・水道業 (具体的には) 下水道施設維持管理業		
※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	21名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり		
※ 産業廃棄物の種類ごとに記入			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	<p>【前年度(令和 4 年度)実績】</p> <p>②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</p> <p>0 t * 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。</p> <p>(これまでに実施した取組)</p>
<p>① 現状</p>	<p>【(令和 5 年度)目標】</p> <p>②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</p> <p>t * 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。</p> <p>(今後実施する予定の取組)</p>
<p>② 計画</p>	<p>自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</p> <p>【前年度(令和 4 年度)実績】</p> <p>⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</p> <p>0 t * 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。</p> <p>⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</p> <p>63,091.5 t * 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。</p> <p>(これまでに実施した取組)</p>
<p>① 現状</p>	<p>【(令和 5 年度)目標】</p> <p>⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</p> <p>t * 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。</p> <p>⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</p> <p>58,958.0 t * 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。</p> <p>(今後実施する予定の取組)</p>
<p>② 計画</p>	

	【(令和5年度)目標】	
	⑩ 全処理委託量	720.0 t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	720.0 t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
② 計画	(今後実施する予定の取組)	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
※ 事務処理欄		

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業	イ. 汚泥
廃棄物の種類	※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の處理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

不要物等発生量
1,1358.0 t

自社の他事業場における排出量
1,1358.0 t

自社からの搬入量
t

② 自ら直接再生利用する量
t

③ 自ら直接処分する量
t

④ 自ら中間処理する量
69,556.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
t

自社の他事業場での
処理委託量
5,800.0 t

⑥ 直接処理委託量
0.0 t

B-1 中間処理委託量
0.0 t

B-2 最終処分委託量
t

事業場名稱

鎌倉市七里ガ浜浄化センター

2-2 法定 ○ 自主

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の處理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

不要物等発生量
1,1358.0 t

自社の他事業場における排出量
1,1358.0 t

自社からの搬入量
t

③ 自ら中間処理後に自ら再利用する量
t

※3 場での処理量
5,800.0 t

自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量
5,800.0 t

b-1 中間処理
委託量
720.0 t

b-2 最終処分
委託量
720.0 t

自ら中間処理後
の搬入量
6,600.0 t

自ら中間処理後
の搬出量
6,600.0 t

自ら中間処理により減量する量
53,958.0 t

(目的別内訳)
再生利用前
委託量
最終処分前
委託量
下水等放流
前委託量
720.0 t

⑪ のうち再生利用業者へ
の処理委託量
720.0 t

⑫ のうち認定熱回収業者
への処理委託量
720.0 t

⑬ のうち認定熱回収業者
への処理委託量
720.0 t

⑭ のうち優良認定処理
業者への処理委託量
720.0 t

⑮ のうち優良認定処理
業者への処理委託量
720.0 t

自ら中間処理後
の搬入量
6,600.0 t

自ら中間処理後
の搬出量
6,600.0 t

自ら中間処理により減量する量
53,958.0 t

自ら中間処理後
の搬入量
6,600.0 t

自ら中間処理後
の搬出量
6,600.0 t

自ら中間処理により減量する量
53,958.0 t

自ら中間処理後
の搬入量
6,600.0 t

自ら中間処理後
の搬出量
6,600.0 t

自ら中間処理により減量する量
53,958.0 t

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

- 1. 木くず ソ. 錆さい
- 2. 繊維くず タ. かわき殻
- 3. 動植物性残さ チ. 動植物のふん尿
- 4. 廃油 シ. 動植物の死体
- 5. 廃アルカリ ハ. ゴムくず
- 6. 廃アルカリ ニ. 金属くす
- 7. 廃プラスチック ハ. 混合廃棄物その他
- 8. 紙くず セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するごちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	69,486.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	63,091.6 t
⑨ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	425.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	425.5 t
⑬ 認定熱回収業者以外の熱回収を行いうる業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t

書画計理物棄廢產業

事業者名稱：鎌倉市七里ガ浜淨化センター